

ようじえんだより 2016年度9月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

9月主題『のびのびと』

主題聖句：平和な人には未来がある。 詩編37編37節

- ☆ 0～2歳児：空の雲や風を感じ、移りゆく季節を感じる。手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことをしようとする。自分から友だちや保育者に思いを伝え、遊びにかかわろうとする。保育者を通して周りの人や友だちのために祈る体験をする。
- ☆ 3～5歳児：平和を考え、願い、共に祈り、平和に過ごす。一日の生活リズムを取り戻す。夏の経験を通して、遊びが広がる。友だちと身体を動かす遊びを楽しむ。

「いい人生」とは

社会人になって教育学の勉強がしたいと思い、大学院に2年間通いました。そこで「危機管理特論」という授業があり、千葉県警のトップだった方が講師でした。その先生には私の知らない警察の世界をいろいろと教えていただきましたが、特に裁判に関わる授業で「人から極力恨みを買わないように、人と争わないように生きろ。裁判に訴えることも、訴えられることもない人生が一番いい人生だ」という言葉が今でも心に残っています。突然被害者や加害者になってしまうリスクはありますが、それでもいい人生を歩むにはどうすればよいのかと考える時、私は小さな“ゆるし”のある生活が大切ではないかと思えます。不完全な人間同士が集まって生活しているわけですから、行き違いや些細なもめ事は起こるでしょう。その時に責め合ったり陰口を言い合うのではなく、ゆるし、ゆるされる関係がある人生がいい人生だと思います、そんな人生が平和だと思います。

ゆるしとは

聖書では「贖い(あがない)」という言葉

がよく出てきますが、これは「ゆるす」「解放する」という意味があります。私たち大人よく「〇〇ができたなら〇〇してあげる」という言い方を子どもにしてしまいます。このような条件付きのしつけは一定の効果はあるかもしれませんが、子どもは常に“鎖につながれた”状態だと思うのです。このような条件付きの愛は、いきすぎると子どもには大きなプレッシャーとなります。むしろ人は「〇〇にもかかわらず、私はあなたを大切に思っている」という愛情を受けて人として育っていくのではないのでしょうか。このような愛情もゆるしと言えるかもしれません。

未来に希望が持てるように

先が見えず、自己責任が以前にも増して求められる時代ですが、子どもたちには「生きるって楽しい」という希望をもって生きてほしいと心から願っています。希望は生きる源です。そのような希望をもてるためにも、子どもたちが“ゆるし、ゆるされる”環境の中を生きてほしいと願っています。

園長：久保田愛策

年間主題『平和をともに』

主題聖句：キリストはわたしたちの平和であります
新約聖書 エフェソの信徒への手紙 2章14節